

みずほCustomer Desk Report 2022/11/09 号 (As of 2022/11/08)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	146.57 AUD/USD
TKY 9:00AM	146.63	1.0017	146.86	1.1507	0.6472
SYD-NY High	146.93	1.0096	146.98	1.1599	0.6551
SYD-NY Low	145.32	0.9972	146.00	1.1430	0.6445
NY 5:00 PM	145.69	1.0074	146.68	1.1548	0.6508

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,160.83	333.83	日本2年債	▲0.0500%	▲0.0100%
NASDAQ	10,616.20	51.68	日本10年債	0.2500%	0.0000%
S&P	3,828.11	21.31	米国2年債	4.6559%	▲0.0710%
日経平均	27,872.11	344.47	米国5年債	4.2965%	▲0.0974%
TOPIX	1,957.56	23.47	米国10年債	4.1266%	▲0.0901%
シカゴ日経先物	27,880.00	250.00	独10年債	2.2700%	▲0.0525%
ロンドンFT	7,306.14	6.15	英10年債	3.5415%	▲0.0895%
DAX	13,688.75	155.23	豪10年債	4.0550%	0.1460%
ハンセン指数	16,557.31	▲ 38.60	USDJPY 1M Vol	11.25%	▲0.22%
上海総合	3,064.49	▲ 13.32	USDJPY 3M Vol	11.56%	▲0.32%
NY金	1,716.00	35.50	USDJPY 6M Vol	11.43%	▲0.30%
WTI	88.91	▲ 2.88	USDJPY 1M 25RR	▲0.62%	Yen Call Over
CRB指数	284.05	▲ 2.87	EURJPY 3M Vol	11.70%	▲0.34%
ドルインデックス	109.64	▲ 0.48	EURJPY 6M Vol	11.90%	▲0.34%

東京	東京時間のドル円は、146.63レベルでオープンした後、東京時間安値の146.32まで下落。仲値にかけて買い戻されたものの、米中間選挙を控えた様子見ムードもあってか、買いは続かず、その後は146円台半ばでレンジ推移となり、結局146.74レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、146.74レベルでオープン。米中間選挙の様子見もあり方向感の出にくい展開。ドル円はほぼ昨日の値幅内でのみ合いとなり146.43レベルでNYに渡った。(ロンドン・フリー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	146.43レベルでNYオープン。朝方は海外時間の流れを引き継ぎドル売り優勢の展開。特段新規の材料は見当たらなかったが、米中間選挙前でドルロングポジションの手仕舞いが進んだことや、米長期金利の低下が嫌気され、145.32まで下落。売り一巡後、145.70近辺まで反発したものの、午後は米3年債入札結果が好調だったことを受けて米金利が一段と低下し、145円台半ばで上値重く推移。終盤は動意乏しく、結局、145.69レベルでクローズ。一方、海外市場のユー・ドルは1.00レベル前半でスタート。ECB理事会のデギントス氏やナゲル氏が金融引き締めや追加利上げに関してコメントするも、ユー・ドルは反応薄でパリテレベル付近でレンジトレードとなり0.9995レベルでNYオープン。朝方は米金利低下を受けて全面的にドルが売られる中、ユー・ドルは投機筋の買い戻しもみられる中、1.0096まで上昇。しかし、9月13日以来の1.01レベル回復には至らず、その後は1.0050近辺まで反落。午後は1.00台後半で小動きとなり、結局、1.0074レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当：西・鈴木

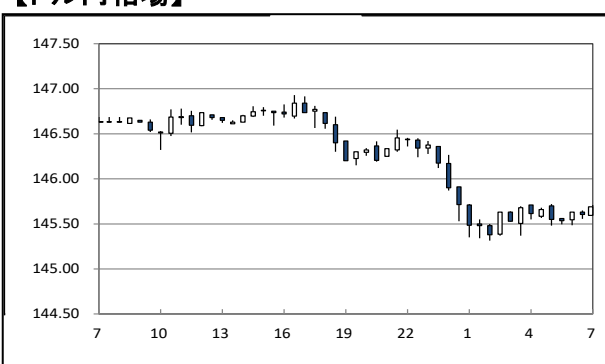
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月8日	08:30	豪	ウエストハック消費者信頼感指数	11月 78.0
	19:00	欧	小売売上高(前月比)	9月 0.4%

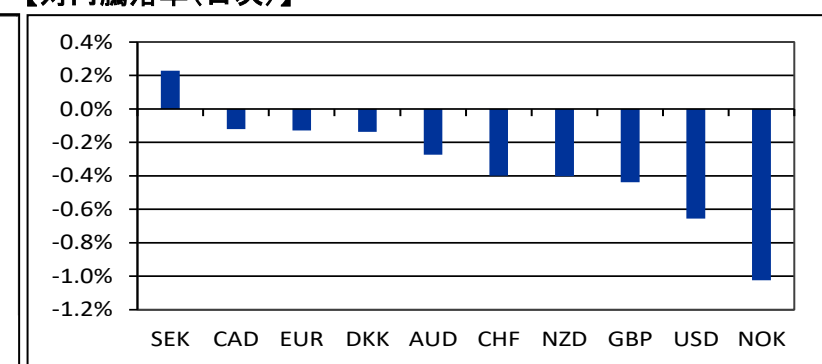
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月9日	10:30	中	CPI(前年比)	10月 2.4%
	10:30	中	PPI(前年比)	10月 -1.5%
11月10日	00:00	米	卸売在庫(前月比)	9月 0.8%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	144.50-146.50	0.9930-1.0200	145.50-147.500

【マーケット・インプレッション】

昨日の東京時間のドル円は146.63レベルでオープン。オープン後146.32まで売られたものの仲値にかけて買い戻され、その後は米中間選挙を前に様子見の展開となった。海外時間では、米金利低下やドル買いポジションの手仕舞いが進んだことで145.32まで下落。一服後は反発し、145.69レベルでクローズした。本日のドル円は上値の重い展開を予想する。昨日実施された米中間選挙の開票は本日行われるが、共和党優勢の結果は大方織込まれているため、ドル円相場への影響は限定的となろう。バイデン大統領率いる民主党と議会の多数党が異なる「ねじれ」になれば、政策頓挫の可能性もあるため、選挙結果には注目が集まる。ただ、一番の市場の関心は引き続き10日発表の米10月CPIである。この結果次第でドルは再び上向く可能性もあるため、本日もイベント前の様子見相場となりそうだ。